

令和4年度（2022年度）行政評価シート

令和4年7月29日

評価者	共生共創部長 服部基己
-----	-------------

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野 2-(2) 文化	施策の方針 2-(2)-①文化活動の支援・促進
目標とするまちの姿	鎌倉のまちがこれまで歩んできたそれぞれの時代の文化を学び、そして触れることのできる環境が整っています。市民が質の高い文化に触れ、また、文化芸術活動の推進が図られることで、市民等の自主的な文化芸術活動が日常的に展開され、新たな文化の創造・発信が常に行われています。	
主な取組	<p>(1)アートマネジメントの充実 より多くの市民が質の高い芸術に触れる機会を提供するため、芸術文化に関する情報を収集します。また、文化施策の研究と検討、企画立案を行います。</p> <p>(2)参加・鑑賞機会と場の提供 多くの市民が鎌倉の特有の文化に気軽に触れるため、芸術文化振興の拠点となる市の施設が適正に維持・管理されるとともに、文化の質的向上と豊かな市民生活に寄与する文化事業を実施し、市民の文化活動への参加・鑑賞や場の提供を行います。</p> <p>(3)文化・芸術活動の発信 鎌倉ゆかりの文化芸術の功績、資料等を広く市民等へ知らせるとともに、後世に伝えます。</p>	

1 成果指標

成果指標①	「文化活動が活発であり、新たな文化の創造・発信を行っているまち」だと感じている市民の割合					出典	市民アンケート調査		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和2年1月	%	目標値	64.0	65.0	66.0	67.0	68.0	69.0	
63.2		実績値	未実施	70.9					
		達成率	—	109.1%					
成果指標②	鎌倉市民文化祭観覧者の満足度					出典	所管課調べ		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和2年度アンケート調査実施予定	—	目標値	—	—	—	—	—	—	新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、令和2年度鎌倉市民文化祭は中止
—		実績値	未実施	未実施					
		達成率	—	—					

2 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	517,483	460,190				
人件費	60,929	58,766				
総事業費	578,412	518,956				

3 担当部評価

(1)「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

共生共創部

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響から、鎌倉市民文化祭事業など一部規模を縮小して実施した事業もあったが、指定管理者制度を導入する各文化施設のきめ細かい取組もあり、「文化活動が活発であり、新たな文化の創造・発信を行っているまち」として市民の認知度が高くなっている。

なお、各施設の管理運営においては、建物や設備の修繕等、適切な維持保全が行われ、市民の文化活動への支援・促進が図られた。

(2)今後の方向性

共生共創部

文化芸術に関する情報や活動・交流の場を提供することにより、新たな文化芸術活動の担い手等の発見と発掘に努める。

(3)施策の方針にひもづく事務事業の評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	共生-25	文化行政推進事業		5,407	16,474	21,881	改善・変更	A	改善・変更
	共生-26	川喜多映画記念館等管理運営事業		36,020	6,070	42,090	改善・変更	A	改善・変更
	共生-27	鎌倉芸術館管理運営事業		268,152	14,697	282,849	改善・変更	A	改善・変更
重	共生-28	鎌倉芸術館大規模修繕等事業		9,592	3,035	12,627	拡充	A	拡充
	共生-29	美術館建設準備事業		2,901	759	3,660	現状維持	B	現状維持
	共生-30	鏑木清方記念美術館管理運営事業		48,089	6,070	54,159	改善・変更	A	改善・変更
	共生-31	文学館管理運営事業		75,773	9,104	84,877	現状維持	A	現状維持
重	共生-32	文学館大規模修繕事業		14,256	2,557	16,813	現状維持	A	現状維持

(4)貢献度に関する分析

共生共創部

美術館建設準備事業は、建設地の確保、費用面などから、(仮称)鎌倉美術館の建設が厳しい局面を迎えており、収蔵品の鑑賞機会や手法の検討を要する状況となっている。

文化行政推進事業は、市民文化祭等により市民へ文化芸術活動の機会の提供や支援を行った他、ようこそ先達事業や鎌倉子ども能等を実施することにより、次世代を担う子どもたちへ本物の芸術文化や伝統文化に触れる機会を提供するなど、世代を問わず市民の芸術文化活動の質的向上に寄与した。

各文化施設の管理運営事業は、指定管理者の専門性を生かすことで、鎌倉芸術館では芸術文化活動の場の提供、他の3館では、より多くの市民に地域の歴史・文化に触れる機会を創出することで、文化の支援及び推進に寄与した。

鎌倉芸術館及び鎌倉文学館の大規模修繕事業は、老朽化が進み不具合が生じている箇所を計画的に修繕することで、利用者の安全かつ快適な施設利用の実現に寄与した。